

2008 年度

科目名 <p style="text-align: center;">ゼミナール I</p>	対象学科・学年 教育教福 3 回生	担当者 <p style="text-align: center;">植條 勝子</p>
授業テーマ 音楽療法 ピアノ演奏 音楽教育研究		
授業の概要と目標 音楽をいろいろな角度から考察する。音楽療法では、実際に障害児とどのように接すれば信頼関係を築けるのか、コミュニケーションを深められるのかをセッションを通して学ぶ。ピアノ演奏については、楽曲分析も含めてより高度なテクニックと表現法とを実技により習得する。音楽教育研究は、幼児期の音楽体験を振り返り、子どもの豊かな音楽表現力を育て、興味を惹きつけるための保育内容・授業内容を研究する。これらの分野から最も興味のあるものをテーマに選ぶ。		
評価方法 レポートとテーマに取り組む態度により評価する		
テキスト その都度指示をする	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. テーマを決定するには 2. 指導法 I (1) 幼児の歌唱指導のポイント 3. 指導法 I (2) 模擬授業による指導 4. 指導法 I (3) 個々の指導の問題点と解決法 5. 創作 (1) 音楽を創る (数枚の絵を準備する) 6. 創作 (2) 一枚の絵から音楽物語を創る 7. 創作 (3) 物語を発展させる 8. 創作発表 物語の自作自演 9. 教育実習を終えて 反省と課題 10. 表現 I (1) 子どものミュージカル (グループ編成 題材の選択 配役決定) 11. 表現 I (2) 公開練習 意見交換 12. 表現 I (3) 公開練習 表現の工夫 13. 表現 I (4) 公開練習 表現の工夫 14. 表現 I (5) 発表 ビデオ撮影 15. 表現 I (6) 発表 ビデオ撮影 16. 演奏発表 ピアノ演奏を研究テーマとし、毎週個人レッスンを受けた成果を発表する 17. 指導法 II (1) 伴奏法 (既成の伴奏形 主旋律を重複する伴奏形) 18. 指導法 II (2) 伴奏法 (主旋律を含まない独立した伴奏形) 19. 指導法 II (3) 伴奏法 (自由な伴奏形) 20. 指導法 II (4) 弾き歌い 21. 指導法 II (5) 弾き歌い 22. 演習 (1) 手話の歌 23. 演習 (2) 手話の歌 24. 演習 (3) 手話の歌 25. 事例研究 (1) 音楽環境と音楽教育について 26. 事例研究 (2) 生活と音楽教育について 27. 事例研究 (3) 障害児音楽教育について 28. 事例研究 (4) 障害児音楽教育と音楽療法 29. 演奏発表 第 2 回ピアノ演奏発表 30. テーマ テーマを絞り、各自のテーマをどのように発展させるかを発表する * ピアノ演奏をテーマにする場合は、別にレッスン時間を設定して毎週個人指導をする * 音楽療法をテーマとする場合は、週 1 回本学で実施している音楽療法セッションで臨床実習し、ミーティングに参加する		